

ふくし

加字 / 日康会友 井野ゆ紀氏

11月6日(日)今年もつながりステーションに、わくわくエスタイルをいきいき
広場一帯で開催しました。たくさんのボランティアさんや地域の皆さまに参加
していただき、大盛況の1日となりました。(詳しくは、P2~P5にて)

11月6日(日)
第7回

高浜市

わくわくフェスティバル開催報告

もっとつながれ“話・輪・和”～つながりの輪は∞(無限大)～

参加者・地域が一つにつながったイベントを紹介

話

きずこう！ずっとつながる なかまの“わ”

「話」では防災をテーマに、要配慮者といわれる障がいのある方やお年寄りの方などになりきり、困難さを体験することで、自分だったらどんな手助けができるか、どうしたら不安を取り除けるかを考えてもらいました。そして、実際災害が起きたとき、周りの人と協力して行動することの大切さを感じてもらおう企画を実施しました。

午前は子どもたちがチームを作り、ミッションに挑戦！その後グループワークを行い、体験して気づいたこと、どうすればよかったか、意見を出し合いました。

体験することで、普段では感じない怖さや不安を感じ、声掛けされる安心感や、周りとの協力することの大切さを感じてくれました。



午後はシールラリーを実施。災害に関するクイズや、視覚・聴覚障がいの体験を通して、気づいたことをメッセージツリーに書いてもらいました。

見えないことの恐怖や伝わらないことのもどかしさを感じてもらい、障がいのある方大変さを肌で感じてもらうことができました。子どもたちからは、相手の立場に立って気持ちに寄り添う大切さや、災害に備えることの重要性など、多くの言葉をもらうことができました。

輪

高浜オリジナルポッチャ大会

午前中に行った体験コーナーは、157名の参加がありました。そのうち小学生は45名。小学生同士で楽しんだり、訪れた大人に次々と対戦を求めたりする児童もいました。幼稚園や保育園のお子さんも家族で参加。4つのコートはいつも参加者であふれていました。

午後の競技大会は昨年を上回る40チームが参加。そのうち小学生は7チーム。老若男女が8つのリーグに分かれて優勝を目指しました。

障がいのある子どものお母さんが、帰りがけにうれしそうに話してくれました。「いつもはお姉ちゃんのスポーツを見に行くだけだったけど、今日は本人が楽しむことができました。この子にできるスポーツがあるなんてうれしいです。ぜひまたやりたいです。」ボールをうまく投げられないので、両親の手を借りて「ランプス」というすべり台のようなポッチャ専用用具を使って投球。高得点を挙げたり対戦前に相手の選手と握手したりして、終始ニコニコ顔でした。また、翌日のこと、「児童がうれしそうに優勝カップを見せに来てくれました」とある校長先生。

大会前には3つの小学校でポッチャをテーマに福祉実践教室という授業を実施したり、全児童にチラシを配布したりしました。小学生のみなさんにもポッチャの面白さを実感していただいた1日でした。



和

「わくわくカフェ・レストラン」



「わくわくカフェ・レストラン」満員御礼!!

当日人気メニュー ベスト3

- 👑まるごと
グレープフルーツゼリー
- 👑昨年NO. 3さんまの蒲焼き
- 👑成田さんちのチヂミ
(当日アンケートより)

「わくわくカフェ・レストラン」は、市内宅老所で昼食作りのボランティアグループが「宅老所をもっと多くの方に利用してほしい」という思いから、平成25年に「わくわく食堂」として開店したのが始まりで

す。4回目となる今年も、高浜高校生や子どもからベテラン主婦が、ワンデイ（1日）シェフとなり、「わくわくカフェ・レストラン」をオープンしました。今年は、シェフの得意料理をシェフ自ら、来場されたお客様にお配りすることで、「作り手」と「受け手」の顔が見えるレストランになりました。



■「わくわくカフェ・レストラン」から広がる「輪」!!

シェフの中には、この企画をきっかけに、現在、ワンデイシェフとして、地域共生型福祉施設あっぱで活躍しているグループもいます。

「今年も楽しみにしてきた。」というお客様の声をたくさんいただきました。

お客様の声

- ・料理全部が、おいしかった。
- ・みんなでワイワイ楽しく料理を作る機会があれば参加したい。
- ・今後もこのようなレストランを開催してほしい。

次は、あなたの得意料理を、みなさんに振る舞ってみませんか？

ステージ つながるチャラポコ!



ステージでは、昨年に引き続き「つながるチャラポコ」を開催しました。

わくわくフェスティバル来場の皆さん、出展者の皆さん、ボランティアの皆さんが輪になってチャラポコを踊り、つながりを深める企画です。

当日は、子供から大人まで200名を超える方が参加して下さいました。

地域や職場で列を作り、チャラポコを踊る方々に交じって、「チャラポコって何？」というフレッシュな方々も見様見真似で参加してくれました。わくわくフェスティバルへ何度も来て下さる方も、今年初めて来て下さった方も一緒になってチャラポコを楽しむことができました。

参加した方から、「初めてでしたが楽しかった。また来たい。」との感想をいただきました。

赤い羽根共同募金のマスコット愛ちゃんと希望くん、高浜市子ども食育マスコットキャラクターのカワラッキーも協力し、場を盛り上げました。

高浜伝統のチャラポコで、みんながひとつにつながり、「つながりの輪」を作ることができました。



たくさんの
つながりが実感でき、
笑顔があふれる1日と
なりました。



開会宣言とともにクラッカーの音で始まりました。



点字、手話、回想法など、だれもが「ふだんのくらしをしあわせ」にすこす為の取り組みを楽しく、わかりやすく伝えるために様々な工夫をこらした出展が目立ちました。



物販のブースでは、自分たちの手作り品等を来場者に直接PRしながら販売しました。来場者と出展者が会話をすることで、つながりの輪が広がるきっかけとなりました。



“つながりの輪”を広げるきっかけを一緒につくりませんか？

(平成29年度わくわくフェスティバル実行委員の募集)

わくわくフェスティバルは、市民、市内団体を中心とした実行委員会が企画運営を行っています。

今年も4月から打ち合わせを行い、つながりをテーマに様々な企画を考え、実施することが出来ました。そこで、平成29年度わくわくフェスティバル実行委員を募集します。

役割………企画、運営、広報に関すること

活動………実行委員会への出席(8回程度)、当日までの準備運営活動

応募要件…「高浜の地域福祉を良くしたい」という気持ちのある方なら、どなたでも参加していただけます。

【申込み・問合せ先】高浜市わくわくフェスティバル実行委員会事務局

電話52-2002(社協事務局)

期間/平成28年12月1日(木)~平成29年2月28日(火)

つながりの輪 フォトギャラリー



今年も、中学生～大学生、主婦や健康マイレージに登録している方など、幅広い年齢層の約250名がボランティアとして参加して下さいました。また、市内の市民グループ、ボランティアグループ、福祉施設等を中心に多くの団体が参加して下さいました。
わくわくフェスティバルは、このような地域とのつながりで成り立っています。



赤い羽根チャリティーバザー

(株)豊田自動織機様ご提供の生活用品で行ったバザーは、今年も大人気でした。
売上は、赤い羽根共同募金に募金し、地域福祉の推進に役立てられます。



みんなで権利擁護を考えよう!

個性を尊重し合い、共生できる社会を目指して

ご存知ですか? 「障害者週間」



●障害者週間とは?

「障害者週間」は、国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、平成16年6月に障害者基本法で12月3日から9日までの一週間と定められました。

平成28年4月には「障害者差別解消法」も施行されましたが、依然として障がいのある方々を取り巻く社会環境には、物理的・制度的なバリアに加えて、心のバリアも存在しています。これらのバリアを除去し、「ノーマイゼーションの理念」を定着させるためには、障がい者問題に対する正しい理解と認識を深めることが重要です。この「障害者週間」をきっかけとして、常日頃から障がいのある人もない人も、それぞれの個性を尊重し合い共生できる社会をつくれるようにみなさんも考えてみませんか。

★ノーマイゼーションとは…障がいのある人もない人も分け隔てなく普通に共存できる社会こそがノーマル（正常）な状態であるという理念のもと、そうした正常な社会を積極的に創造していこうとする活動や施策、またその推進のための運動を意味しています。

平成28年度 生活支援員養成講座

生活支援員とは、認知症や物忘れのある高齢者、知的障がい者・精神障がい者などの方が地域で安心して暮らしていくことができるよう、福祉サービスの利用援助・金銭管理・書類預かりなど日常生活を支援する活動をしていただく方です。

しかし、生活支援員については、まだまだ知られていないのが現状です。

そこで、生活支援員についてもっともっと知っていただき、その活動の担い手となるための講座を開催します。ぜひ、ご参加ください。

日 時 / 平成29年1月13日(金)、20日(金)、27日(金) 13:30~15:30

(3日間全てを受講された方に修了証をお渡しします)

場 所 / いきいき広場1階 会議室B

申込期間 / 平成28年12月1日(木)~平成29年1月6日(金) まで

【講座内容】

権利擁護支援センターの職員が、「権利擁護とは何か?」を説明し、弁護士より法制度である「成年後見制度」について学びます。また、専門職より支援の対象者(判断に不安がある方)の特性を聞き、その方への生活支援員の役割を学びます。

※ 生活支援員になるには、社会福祉協議会への登録が必要です。

お申込・お問合せは、高浜市社会福祉協議会まで

電話：0566-52-2002 FAX：0566-52-4100

担当/高木・岡本

ボランティアひろばセンター てとてとて



収集ボランティアへのご協力ありがとうございました!

わくわくフェスティバルにご来場いただいたみなさんより、
たくさんのご協力をいただきました。
本当にありがとうございました!

昨年の使用済み切手は、宅
老所で切手アートに使用さ
せて頂きました。



**収集
ボランティア
回収数**

ベルマーク……………1,333枚 (市内小・中学校へ)
使用済み切手……………2,195枚 (愛知県社会福祉協議会へ)
書き損じハガキ……………28枚 (日本盲導犬協会へ)

「ご当地キャラGO!~つながるねットでボランティア~」10/30(日)開催致しました!

イオンモール東浦にて、ボランティア情報サイト「つながるねット」を地域の皆さんに広めるため、イベントを開催致しました。

ボランティアセンター登録団体「TAKAHAMA祭音」さんが、よさこい演舞で会場を盛り上げて下さいました。また、刈谷市、知立市、東浦町、高浜市のご当地キャラも大集合し、盛況に終わりました。

ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。

まだ「つながるねット」をご覧になったことがない方、知らない方、ぜひ一度ご覧頂き、各市町で活躍されているボランティアさんがたくさんいらっしゃることを知っていただけたらと思います。



かりや衣浦つながるねット

検索

高浜市社会福祉協議会 ボランティアひろばセンターてとてとて

電話：52-9882 FAX：52-4100 メール：tetotetote@takahama-shakyo.or.jp

今回のレシピは…
わくわくカフェ・
レストランで
人気No.1の
レシピです。

まるごとグレープフルーツゼリー

(8人分)

《材料》8人分・グレープフルーツ……………4個 (実も含む) 770g前後
・アガー……………32g ・砂糖……………200g ・水……………300cc
・コアントローまたはオレンジリキュール……………適宜

【作り方】

- ① グレープフルーツを半分にカットして、スプーンで実と果汁をすくい取る
- ② 実と果汁を鍋に入れ、人肌に温める
- ③ 鍋に水を入れ、アガーと砂糖を混ぜ加え、ゆっくりと煮とかす
- ④ 軽く沸騰させたら火を止め②を混ぜ入れる。あればコアントローまたはオレンジリキュールを入れる
- ⑤ 半分にカットしたグレープフルーツの皮に分け入れる

《ポイント》アガーを使うと、寒天とゼラチンの間のようなプルッとした独特の食感に仕上がります。常温で固まるので、すばやく皮に流しこむのがコツです。





地域で ボランティアデビュー!! 応援講座

**アイシン
さわやかふれあい講座**

「初対面の人との会話が苦手!」「会話が續かない!」こんな悩みありませんか? 初対面の人とコミュニケーションを取る方法や、会話を続けるためのマナーや心がけを臨床心理士さんとみんなで楽しく学びましょう。

2日目は、現在活躍中のボランティアさんが、どのようなボランティアをしているかを体験するために「しおり」や「いちご大福」を作って、お茶をしながらボランティアについてお話ししましょう。

ボランティアに興味がない方も、ボランティアをしたいけど一歩を踏み出せない方も、どなたでもご参加下さい!



日 時 / 平成29年1月14日(土)・21日(土) 10時~12時
※どちらか1日のご参加も可能です。

場 所 / いきいき広場1階 会議室A

内 容 / 【14日】① 寸劇「こんなこともボランティア!?!」

② 臨床心理士に会話のコツを学ぼう!

【21日】活躍中のボランティアさんに学ぼう!

① 伊勢型紙を使って切り絵でしおりを作ろう!

② 宅老所食事作りボランティアさん直伝! いちご大福を作って食べよう!



受講料 / 無料

申込期間 / 12月1日(木)~1月13日(金)

申込方法 / 電話・FAX・窓口にてお申込ください。

申込先 / 高浜市社会福祉協議会 ボランティアひろばセンターてとてとて

電話 (0566) 52-9882 FAX (0566) 52-4100

レンジで
チン!



善意をありがとうございました

愛知グレースライオンズクラブ、栗原一幸、
コカ・コーライーストジャパン(株)、
たかはま小町、高浜市いきいきクラブ連合会、
(株)豊田自動織機、永柳和枝、渡し場かもめ会
(敬称略)



年末年始のやすみ

12月29日(木)
~1月3日(火)

広報紙「ふくし」
は財源の一部に赤
い羽根共同募金配
分金を受けて発行
しています。



編集
発行

社会福祉法人 **高浜市社会福祉協議会**

〒444-1334 愛知県高浜市春日町五丁目165番地

TEL : 0566-52-2002 FAX : 0566-52-4100

E-mail : info@takahama-shakyo.or.jp